

★北見工業大学は、「地域連携・社会貢献」「共同研究推進・研究支援」の機能強化を目的とし、学外の皆さまと様々な形で連携し、産学官連携活動を推進しています。

★社会連携推進センターは、大学が持つ「研究」機能を社会のために活用すべく、研究者のシーズと社会のニーズとのマッチングを図る窓口・コーディネート業務や、種々の社会貢献・地域貢献に関する業務の窓口として、北見工業大学の産学官連携活動を推進するセンターです。

No.9

2023.1

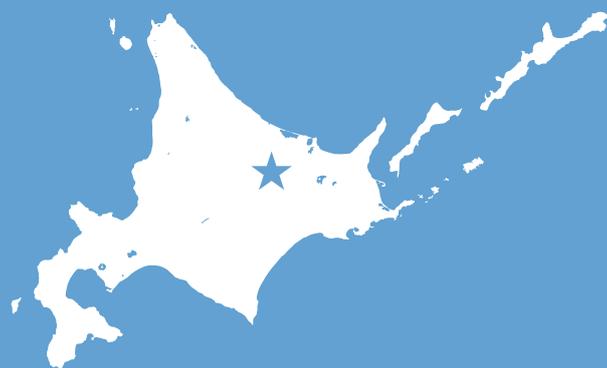
■ FOCUS

社会連携推進センター
創立30周年記念事業を開催

■ TOPIC

「第12回おおた研究・開発フェア」へ出展
「アグリビジネス創出フェア2022」へ出展
小中学校教諭対象「冬季理科実験研修」を開催

■ スタッフ活動



FOCUS

社会連携推進センター創立30周年記念事業を開催

北見工業大学は、12月14日（水）に、社会連携推進センター創立30周年記念式典・フォーラム・パネル展を開催しました。オホーツク地域を中心とする北海道各地の産業界、行政機関、学術機関などから約100人の参加がありました。

記念式典では、文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課産業連携推進室の篠原量紗室長に講演をいただきました。政府の、「地域の中核大学が”特色ある強み”を十分に発揮し社会の変革を牽引する取組を強力に支援する」との方針に沿い、文部科学省が行っている各種支援策のお話がありました。北見工業大学に対しても地域の大学として、魅力ある地域の拠点形成に向け大学の特色を最大に活かしていくこと、またそれを通して、自治体・産業界と連携して実践的なアントレプレナーシップ教育や起業・事業化を推し進めること、さらには地域における新産業の創出や産業構造の転換に貢献していくことなどへの期待が述べられました。

フォーラムでは、今後北見工業大学が取り組むべき社会貢献活動について、教育と研究の両視点から議論するパネルディスカッションが行なわれました。研究面では、本学と地元企業との共同研究により生まれた技術の紹介を通じ、地域産業の新たな展開をもたらす地域に寄り添った研究の大切さが指摘されました。教育面では、「地域の特徴を学び地域に活かしていくことのできる人材」の育成が地域において大きな価値を持つことについて、活発な議論が繰り広げられました。

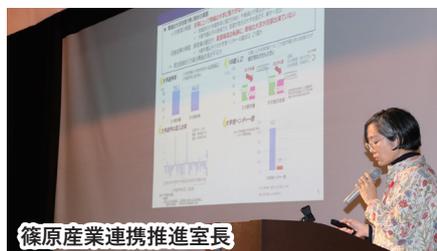
本式典・フォーラムは、北見工業大学のさらなる社会貢献活動の推進に向け、社会連携推進センターが強化すべき機能について確認し意を新たにする貴重な場となりました。

【記念式典】

- 開会挨拶 北見工業大学長 鈴木 聡一郎
機構挨拶 国立大学法人北海道国立大学機構理事長 長谷山 彰
来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課 産業連携推進室長 篠原 量紗 氏
北海道経済産業局長 岩永 正嗣 氏
北見市長 辻 直孝 氏
北見商工会議所副会頭 永田 裕一 氏
活動報告 北見工業大学 社会連携推進センター長 藤井 享
閉会挨拶 北見工業大学 副学長 渡邊 康玄

【フォーラム】

- 「次なる10年へ！未来に向けた北見工業大学社会連携推進センターの課題とは」
コーディネータ 藤井 享（北見工業大学 社会連携推進センター長）
パネリスト 篠原 量紗 氏（文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課 産業連携推進室長）
天池 毅裕 氏（北海道経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長）
永田 裕一 氏（株式会社北見ハッカ通商代表取締役／北見商工会議所副会頭）
各務 茂夫 氏（東京大学大学院工学系研究科 教授 産学協創推進本部 副本部長）
鈴木 聡一郎（北見工業大学長）

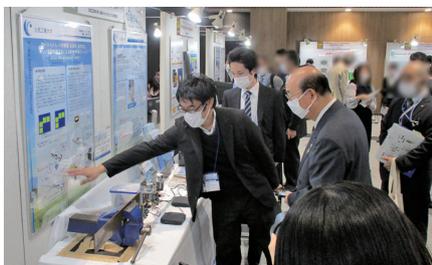


2

TOPIC

「第12回おおた研究・開発フェア」へ出展

10月20日(木)・21日(金)、東京都大田区のコングレスクエア羽田他にて「第12回おおた研究・開発フェア」が開催されました。本イベントは、来場者と出展者との産学連携や新製品・新技術開発等の促進を目的とした大田区の展示会です。本学からは、地域未来デザイン工学科の星野洋平教授が取り組む「取付け簡単な新しい振動制御手法による高性能除振・制振デバイス」について紹介し、生体メカトロニクス研究室に所属する修士2年の坂田篤さんは「回転型除振装置(Active Wheel Damper)の紹介」と題してプレゼンテーションを行いました。



3

TOPIC

「アグリビジネス創出フェア2022」へ出展

10月26日(水)から3日間、東京ビックサイトにて、農林水産省主催の「アグリビジネス創出フェア2022」が開催されました。本イベントは、全国の産学の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を紹介し、マッチングを図る技術交流展示会です。本学からは、地域未来デザイン工学科のFENG CHAOHUI助教が取り組む「食品のイメージング解析と非破壊的検査技術の開発及び応用」と、帯広畜産大学等と実施している「大規模飼料生産体系における収穫作業の人手不足に対応する技術開発」について紹介しました。



4

TOPIC

小中学校教諭対象「冬季理科実験研修」を開催

1月6日(金)、北見市内の小中学校教諭を対象に理科実験研修を実施しました。この研修は、本学と北見市教育委員会の連携事業として毎年度実施しており、本学の教育・研究知識を地域の教育現場に還元して、理科教育充実のための支援を行うことを目的としています。本学の技術部職員が講師となって、「気体の製法と性質」と題し、アンモニア・二氧化硫黄・硫化水素などの気体について、その製法や捕集方法、それぞれの性質を確認する実験を行いました。



with



スタッフ活動 (2022.9. ~ 2022.12.)

北見工業大学の社会貢献推進に向けた産学官連携活動

主たる活動		スタッフ	日程
[北海道]	第1回北海道科学技術審議会*	会議 内島	9月2日
[美幌町]	美幌町自治会連合会交通安全部会視察研修	イベント 内島・三枝	9月20日
[美幌町]	第7回美幌町定例連携探索会議	会議 藤井・内島 三枝	9月20日
[3大学]	オープンイノベーションセンター管理運営部門会議*	会議 三枝	9月26日
[その他] ¹⁾	北海道理工系大学・高専及び公設試 新技術説明会*	会議 内島	9月27日
[3大学]	オープンイノベーションセンター知的財産部門会議*	会議 三枝	10月4日
[その他] ²⁾	大学発ベンチャー/北海道・オホーツクアントレプレナーシップ・セミナー①	イベント 藤井・三枝	10月9日
[他大学]	山口大学知的財産教育研究共同利用拠点運営委員会*	会議 藤井	10月14日
[3大学]	オープンイノベーションセンタービジネス開発部門会議*	会議 藤井・内島	10月18日
[その他] ²⁾	HSFC起業環境整備部会*/HSFC起業推進部会*	会議 藤井・内島	10月19日
[大田区他]	第12回おおた研究・開発フェア	イベント 三枝	10月20日
[3大学]	オープンイノベーションセンター管理運営部門会議*	会議 三枝	10月24日
[国]	アグリビジネス創出フェア2022	イベント 三枝	10月26~27日
[他大学]	北海道地域大学等知的財産部門連絡会議	会議 藤井・三枝	11月9日
[その他] ³⁾	つながる特許庁in札幌	イベント 三枝	11月9日
[実行委]	ビジネスEXPO「第36回 北海道 技術・ビジネス交流会」	イベント 藤井	11月10日
[札幌市他]	札幌・北海道スタートアップエコシステム推進協議会総会	会議 藤井	11月15日
[3大学]	オープンイノベーションセンタービジネス開発部門会議*	会議 藤井・内島	11月16日
[北海道]	第2回北海道科学技術審議会*	会議 内島	11月18日
[北見市]	北見市技能普及実行委員会	会議 内島	11月18日
[3大学]	オープンイノベーションセンター管理運営部門会議*	会議 三枝	11月21日
[CRC]	社会連携推進センター令和4年度推進員・協力員合同会議	会議 藤井・内島 三枝	11月22日
[その他] ²⁾	大学発ベンチャー/北海道・オホーツクアントレプレナーシップ・セミナー②	イベント 藤井・三枝	11月25日
[3大学]	オープンイノベーションセンター管理運営部門会議*	会議 三枝	12月5日
[3大学]	オープンイノベーションセンター知的財産部門会議*	会議 三枝	12月9日
[その他] ⁴⁾	チャレンジフィールド北海道第3回グロスチーム会議	会議 三枝	12月12日
[その他] ²⁾	大学発ベンチャー/北海道・オホーツクアントレプレナーシップ・セミナー③	会議 藤井・三枝	12月12日
[CRC]	北見工業大学社会連携推進センター創立30周年記念式典・フォーラム	イベント 藤井・内島 三枝	12月14日
[3大学]	オープンイノベーションセンター管理運営部門会議*	会議 三枝	12月19日

[]内は主な主催機関

*新型コロナウイルス感染防止のため、Web開催もしくは書面審議

1)国立研究開発法人 科学技術振興機構

2)HSFC：北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク（北海道大学他）

3)特許庁、経済産業省北海道経済産業局

4)公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）



〒090-0013 北海道北見市柏陽町603番地2

TEL 0157-26-4161 FAX 0157-26-4171

北見工業大学社会連携推進センター（CRC, Center for Regional Community）

CRCが大切にしているのは、社会・地域の皆さんとともに生き・歩みながら社会に貢献している大学の姿です。その想いを目に見える言葉、形や色にしました。キーワードは、様々に繋がっていく「With、ともに」です。CRCのマークは、「社会連携推進センター」の、「Center for Regional Community」の頭文字です。オホーツクの「大地」と「木々」と「空・水」、手を繋ぐ「官」と「産」と「学」を表す茶・緑・青の文字、C・R・Cからなっています。Rの窓にある星は、大学のマークにも入っている北斗、北天に光を放つ北見工業大学です。

<https://www.crc.kitami-it.ac.jp/>

chiiki@desk.kitami-it.ac.jp